

流域と矢別ダムの概要

□ 流域の概要

汐泊川(しおどまりかわ)は北海道の渡島半島南部に位置しており、その源を北海道函館市三森山(みつもりやま) (標高842m) に発し平地部に至って西俣川(にしまたがわ)、温川(ぬるいかわ)と合流して、更に亀尾(かめお)地区を南下し、函館市古川町(ふるかわちょう)、新湊町(しんみなとちょう)、において津軽海峡に注ぐ流域面積140.6Km²、流路延長20.7Kmの2級河川です。本流域は夏は涼しく冬は暖かい海洋性の気候を示しています。流域の概ね90%は山林で、中下流域の平野部は主に水田、畑として利用されています。

□ ダムの概要

矢別ダムは2級河川汐泊川水系汐泊川の北海道函館市紅葉山(もみじやま)町(ちょう)地先に治水専用ダムとして建設されたものです。本ダムは重力式コンクリートダムでダム高33.6m、総貯水容量380万m³、有効貯水容量250万m³を持って洪水調節を行うダムです。

□ ダム事業の経過

- | | | |
|-----------------|----|--------------|
| □ 昭和42年度～昭和43年度 | ▶▶ | □ 予備調査 |
| □ 昭和44年度～昭和45年度 | ▶▶ | □ 実施計画調査 |
| □ 昭和46年度～昭和50年度 | ▶▶ | □ ダム建設 |
| □ 昭和58年度～昭和60年度 | ▶▶ | □ 堰堤改良事業 |
| □ 平成 8年度 | ▶▶ | □ 情報基盤緊急整備事業 |
| □ 平成11年度 | ▶▶ | □ 情報基盤緊急整備事業 |
| □ 平成15年度～ | ▶▶ | □ 堰堤改良事業 |